

埼玉県山岳連盟
埼玉岳連報 第24号

発行者 田中 文男
発行所 埼玉岳連事務所 福田靖方
〒340-0211
鷲宮町鷲宮団地1-28-407
編集人 岩井田 正昭
発行部数 1600部

応援しよう！ 創立50周年記念ナンガパルパッド海外遠征



写真提供 群馬県山岳連盟 C1~C4 山頂へ至るルート

【巻頭言】 埼玉県山岳連盟 理事長 村岡 正巳

「安西先生、登りたいです・・・」

この度、理事長に選出され大役を仰せつかり改めて身の引き締まる思いでいっぱいです。同時に責任の重大さを痛感しています。埼玉県山岳連盟は50年の歴史を重ね、現在61の団体、会員約1,000名を数える組織に成長してきました。ここまでには素晴らしい連盟に築きあげられた諸先輩の努力に感謝申し上げるとともに敬意を表したいと思います。

さて、話は変わりますがスポーツを題材とした漫画は色々あります。その中で野球と格闘技が二大ジャンルのようでも格闘技が41%、野球25%を占めます。そしてサッカー21%、ゴルフ10%、テニス5%、バレーボール4%・・・と続く。「山岳」というと1%に満たないようです。漫画になることが全てではありませんが、社会の認知度に比例しているような気がしません。また、それぞれのスポーツをやる、見るというどちらかの人気の高さのバロメータにも感じます。今年の2月の冬季オリンピックで金メダルを獲得した荒川静香の漫画が連載されているのもそのあたりだろうか。一方、山岳人口はだけを見ればかなりの数を示しているのがあるが・・・相手を倒す、相手に勝つといった、目標や結果がはっきりしない山岳は、ドラマとしてまとめづらいのか？いつかは、スラムダンクのような山岳漫画が出てくるのを楽しみにしたい。「安西先生、登りたいです・・・」そして、若い人が山岳に興味を持って頂ければ。

昨年、埼玉県山岳連盟は50周年を迎え先輩諸氏の功績を改めて感じることができました。しかし、組織や運営システムは現在の環境変化やメンバーの高齢化など考え合わせると客観的にかなり難しい時期に差しかかっているように感じます。我々のようなスポーツ団体は、営利団体でなく企業組織のような意志伝達や統率力は期待できない。学校の部やクラブのような先輩、後輩の関係による強制力も希薄。多くの場合、限られたメンバーの情熱、行動力、財力が活動を支えています。この辺を時代にあつた組織運営に変えていくことが重要と考えています。なるべく個人のレベルに頼らない運営が必要でしょう。前理事長の福田氏もこの点にはかなり尽力されたと感じています。が更にこれらの点に力を入れて行きたいと思っています。

そして、スポーツ活動ニーズへの対応(底辺拡大、指導者育成など)、ジュニアの育成、競技能力向上(国体含む)、情報の質・量向上、スポーツ振興基金などの事業を具体的に展開していきたいと考えております。自身は、フリークライミングが中心の活動で、埼玉県山岳連盟を引っ張っていくには経験、知識ともに浅いと感じていますが、埼玉県山岳連盟の方向転換のきっかけとなる活動ができればと思いますので、ご協力のほどお願い申し上げます。

埼玉県山岳連盟 埼玉 2006 ナンガパルバット登山隊

創立50周年記念海外遠征

【主催】埼玉県山岳連盟

【後援】埼玉県・埼玉県体育協会・テレビ埼玉・埼玉新聞社

趣 旨

埼玉県山岳連盟は、1955年の8月創立以来、国内はもとよりヒマラヤを初めとする世界の山々に足跡を印してまいりました。また、県内の各山岳団体を統轄・代表し、アルピニズムの確立、安全・健全登山の指導奨励、山岳競技の推進、自然保護の推進等を進め、着実なる成果を収めてまいりました。2004年、埼玉県では、二巡回の国民体育大会が開催されました。埼玉県山岳連盟では、山岳競技部門での競技力向上を目指し、選手の養成と強化、合わせて指導者の指導力、技術力の向上に取り組みました。このような状況の中で、埼玉国体を記念し、埼玉からエベレスト登頂をと、有志が集まり研究会を結成、目標に向かって歩き始めました。それは、埼玉県山岳連盟をも動かし「海外登山委員会」を設置。意欲ある多数の若者が集まりました。そして、1998年には世界第5位の高峰マカルー1峰(8463m)の登山を計画し、登頂はできませんでしたが、8000mという絶対的な高度を体験することができました。主催する埼玉県山岳連盟、参加する隊員等すべてにとって、大いなるステップになりました。引き続き2001年にはパキスタンのスパンティーク(7,027m)に遠征隊を出し、登頂することができました。

今回は埼玉県山岳連盟創立50周年を迎え、記念海外遠征としてパキスタンにあるナンガパルバット(8126m)登山を計画しました。またこの登山では、環境保護のための「テイクイン・テイクアウト」を実践してまいります。さらに、埼玉県の登山隊として、05パキスタン北部地震の復興援助また文化交流活動も実施します、私たちの計画が成就するには、緻密な研究とチームワーク、トレーニング、皆様方の御支援、そして「神の微笑み」がなによりも必要なことを充分認識しつつ、全力を尽くす所存であります。

上記の趣旨にご賛同いただき、皆様方の御理解と御指導、御支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

2006年 埼玉山岳連盟会長 田中文男

《計画概要》

1. 登山隊の組織及び名称

派遣母体 : 埼玉県山岳連盟

登山隊名称 : 埼玉 2006 ナンガパルバット登山隊

2. 目的

埼玉県山岳連盟発足50年を迎えて、記念及び節目としての海外登山及び登頂

埼玉県山岳連盟の次代を担う若手人材の育成

環境保護のための「テイクイン・テイクアウト」の実施、05パキスタン北部地震の復興援助

3. 期間・ルート

登山遠征期間 : 2006年(平成18年)7月6日(木)～8月28日(月)

登山活動期間 : 7月14日(金)～8月22日(火)

登攀ルート : 西壁ノーマルルートからの登頂

4. 行動予定

7/7:先発隊/成田発→7/14:後発隊/成田発→7/15:BC作成→7/20:C1→7/25:C2→8/2:C3→

8/10:C4→8/15:第1次登頂→8/16:第2次登頂→8/20:BC撤収→8/27:イスマバード発→8/28:成田発

5. 予算

収入 : 8,300,000.- 支出 : 国内 2,800,000.- 国外 5,500,000.-

6. 隊の構成及び名簿

登山隊総隊長 田中 文男 (浦和山岳会)

登山隊長 福田 靖 (たらっぺ山の会)

副登山隊長 小澤 直宏 (遠峰山岳会)

登攀隊長 天野 賢一 (遠峰山岳会)
隊 員 烏 辰克 (グループ・ド・ピレ)
石橋 修 (たらっぺ山の会)
藤井 大輔 (遠峰山岳会)

埼玉 2006 ナンガパルバット登山隊実行委員会

1. 組 織

実行委員会 田中 文男
実行委員長 福田 靖
副実行委員長 武井 正男, 森下 健七郎, 中田 弘, 大谷 明, 村岡 正巳
事務局長 加藤 富之
委 員 野村 善弥, 大倉 至, 長谷川 茂, 小茂田 利孝, 瀬藤 武,
山口 定男, 岩井田 正昭

2. 登山隊事務局連絡先

加藤富之 〒370-0421 群馬県太田市粕川町甲 522 TEL&FAX 0276-52-1276/2749

3. 現地連絡先

日・パ旅行社 Nippa Travel
House 22.Bazaar Road. G-6/4 (P.O.BOX 2253) Islamabad PAKISTAN
Tel/Fax:92-51-2824556 携帯:0333-5117732

4. 支援金振込先

郵便局 口座番号(普通): 10240 (記号) 84683481 (番号)
会計担当: カラスタツミ (烏辰克)

埼玉2006 ナンガパルバット(8,126m)トレッキング

埼玉県山岳連盟創立50周年記念海外遠征

世界第9の高峰ナンガパルバットの北面の雄姿を展望、高度差4,500mの北壁に挑んでいる、我が埼玉県山岳連盟登山隊を応援します。

- 8,000m峰ではもっとも美しいナンガパルバットのBCに2泊しての北面をゆっくり展望。昼はすばらしい高山植物を見ながらのトレッキング、夜は星空を仰ぐキャンプをお楽しみ下さい。
- ナンガパルバット山群を四輪駆動車でハラレまで入り、ディアミール川沿いの景色にとんだ道を B.C.までトレッキング。途中、メスナーがお世話になった村人の為に作ったメスナーズクールで1泊します。
- 一気に4,500m なぎ落ちるナンガパルバットの北壁(ディアミール壁)に取り着いている、埼玉隊を B.C.から望みます。

趣 旨

埼玉県山岳連盟は、1955年の8月創立以来、国内はもとよりヒマラヤを初めとする世界の山々に足跡を印してまいりました。1998年には世界第5位の高峰マカルーI峰(8,463m)の登山を計画し、登頂はできませんでしたが、8,000mという絶対的な高度を体験することができました。引き続き2001年にはパキスタンのスパンティーク(7,027m)に遠征隊を出し、登頂することができました。

今回は埼玉県山岳連盟創立50周年を迎え、記念海外遠征としてパキスタンにあるナンガパルバット(8,126m)登山を計画しました。環境保護のための「テイクイン・テイクアウト」を实践、'05パキスタン北部地震の復興援助も実施します。

この計画を支援するために右記のような計画でトレッキング隊を派遣することになりました。この趣旨にご賛同いただき、多くの方が参加されるよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

2006年埼玉県山岳連盟会長 田中文男

1. トレッキング隊事務局連絡先

加藤富之 〒370-0421 群馬県太田市粕川町甲 522 TEL&FAX0276-52-1276/2749

2. 現地連絡先

日・パ旅行社 Nippa Travel

House 22.Bazaar Road. G-6/4(P.O.BOX 2253) Islamabad PAKISTAN

Tel/Fax:92-51-2824556 携帯:0333-5117732

3. 費用

先発隊 2006年7月14日(金)～7月25日(火) 300,000.-

後発隊 2006年8月11日(金)～8月22日(火) 350,000.-

4. 振込先

郵便局 口座番号(普通):10160 7120601

会計担当:シオヤ ヒサコ(塩谷 壽子)

5. 行動予定

- 1・成田～イスマバート(パキスタン航空):空路北欧経由でイスマバート国際空港にご到着です。
空港にてガイドがお待ちしており、ホテルへご案内いたします。
ご夕食は、機内で召し上がっていただきます
- 2・イスマバート～チラス(専用車):早朝のご出発です。ご朝食は、アホバートで摂っていただくこととなります。
ご昼食は、ベシムです。
- 3・チラス～アップルジール(車・トレッキング):乗用車でブナルまで行き、ジープに乗り換えます。ジープでハルまで(2時間)入ります。その後は、少し歩いてアップルジールまで(4時間)入ります。マスタースクールにテントを張ります。
- 4・アップルジール～デアムロイ(トレッキング):4時間の行程です。少しキツイ登りです。ゆっくりゆっくり登ってください。
- 5・デアムロイ～ナガ BC(トレッキング):3時間の行程です。7～8月は、高山植物の季節です。草原の中、林の中、この日は、最高の行程です。
- 6・ナガ BC(トレッキング):終日ベースキャンプで過ごしていただきます。氷河の中を散策される方は、決して一人で行かないでください。
- 7・ナガ BC～アップルジール(トレッキング):BCから下山です。足に負担がかからないようにゆっくりとしたペースで下山します。
- 8・アップルジール～チラス(トレッキング・車):ガイドによってポーターの支払が済めば、トレッキングも終了です。
用ジープでカカムハウェイまで下り、専用車に乗り換えます。
- 9・チラス～イスマバート(専用車):専用車にてカカムハウェイをイスマバートまで下ります。カカムハウェイ沿いの観光スポットは、往復で時間の許す限り見ていただきます。
- 10・イスマバート～成田(パキスタン航空):イスマバート市内観光とお土産のお買い物です。ご夕食後、空港へお送りいたします。北京経由で帰国の途についていただきます。
成田へお昼過ぎにご到着お疲れ様でした。

※参加ご希望の方は下記事務局までお問い合わせ下さい。

加藤 富之 〒370-0421 群馬県太田市粕川町甲 522 TEL&FAX0276-52-1276/2749

2006年ナガパルバット 8.126m:壮行会のお誘い

埼玉岳連 50周年イベントとして、「ナガパルバット」へ登頂隊が旅立ちます。私たち海外委員会の有志よっての壮行会を企画しました。多くの皆さんの参加によって、隊員7名の今後の活躍を記念して美酒(食)を味わい、参加者一人ひとりのモチベーションを上げ、隊員を盛り立てて行きましょう。多くの参加者を期待します。よろしくお祈りします。

日 時 ;平成18年6月3日(土)午後6時から2時間

場 所 ;ブリランテ武蔵野 5階テラス(新都心・北与野下車5分,与野5分) 048-601-5570

会 費 ;8,000円

幹 事 ;海外登山委員会 有志代表 小茂田利孝 詳細はご連絡下さい。 090-5391-5100

第45回全日本登山体育大会福島大会 実施要項

「すべての嶺に憩いあり」

第45回全日本登山体育大会開催要項 (抜粋)

- 1・目的：全国の岳人が集い、福島との自然との共生をテーマに登山交流を通して登山技術の向上と相互の親睦を図ることを目的とする。
- 2・開催日時：平成18年10月13日(金)～10月15日(日)
- 3・開催場所：(1)吾妻山系(福島市)、(2)安達太良山系(二本松市)、(3)磐梯山系(猪苗代町)
- 4・主催：(社)日本山岳協会
- 5・主管：福島県山岳連盟
- 6・後援：文部科学省、(財)日本体育協会、福島県、福島県教育委員会、(財)福島県体育協会、福島市、福島市教育委員会、二本松市、猪苗代町、福島観光協会、二本松観光協会、猪苗代観光協会、福島民報社、福島民友新聞社、福島テレビ、福島中央テレビ、テレビユー福島、福島放送11
- 7・協賛：アサヒビール福島工場、大塚製薬
- 8・日程：第一日目 10月13日(金) 開会式・講演・リエンション・歓迎レプション・宿泊
：第二日目 10月14日(土) 登山行動開始→終了(宿舎移動)
：第三日目 10月15日(日) 閉会式→解散
- 9・登山コース
：(1)吾妻山系(福島市)：吾妻・土湯コース
：(2)安達太良山系(二本松市・猪苗代町)：安達太良 沼尻コース：安達太良 岳コース
：(3)磐梯山系(猪苗代町)：磐梯山コース

10・参加資格

- ：都道府県山岳連盟(協会)より推薦を受けたもの。(社)日本山岳協会の役員、参与、賛助会員
- ：参加申し込み・大会並びに山城等に係わる問い合わせ先

第45回全日本登山体育大会福島大会実行委員会事務局

〒960-8162 福島市南町75尾形一幸・TEL/FAX 024-546-9535

：参加申込期間 平成18年4月3日(月)～平成18年7月10日(月)

：参加費用 30,000円(但し、宿泊費、大会中の全食費、輸送費、保険料を含む)

※注・編集上一部抜粋しています。参加希望者は県岳連事務局へお問い合わせ下さい

詳細のパンフレットがあります。

山での新婚祝福式 小鹿野の二子山2カップルの門出

秩父郡小鹿野町の二子(ふたご)山(標高1165メートル)で二十九日、山開きに合わせて恒例の「新婚祝福式」が行われた。カタクリの花が咲き、野鳥がさえずる山の中で新婚カップルの門出を祝った。

主催は二子山の自然を守る会と小鹿野観光協会、小鹿野山岳会。これまでは二子山の西岳山頂を会場としてきたが、手狭なため、今年から西岳と東岳の中間の股峠で実施することになった。

今年参加したカップルは、昨年結婚式を挙げた小鹿野町の山口桃王さん、雪帆さん、秩父市の斎藤勲さん、恵子さん。

開山式に引き続き、日本武(やまとたける)神社の斎藤田郎禰直が式を執り行った。県内の登山関係者や地元住民、町議や県議、県警山岳救助隊員ら約百人が出席した。

山口さん夫婦は結婚を機に、二子山の近くにある夫の桃王さんの実家で生活。神奈川県生まれの妻の雪帆さんは二子山を見た時から魅力を感じ、ここに住みたいと思っていた。その山で祝福式が挙げられて最高です。二子山の自然を守る会の福島弘文会長も「二子山の名前にちなんで、子どもをたくさんつくってほしい。少子化も解消できるのでは」と冗談も交えて祝福の言葉を贈っていた。

【埼玉新聞 平成18年4月30日・朝刊】 転載

埼玉県岳連より村岡理事長、瀬藤副理事長、加藤事務局長、長谷川委員長、岩井田委員長ら山岳連関係者約10名が式典に参加し、開山式、新婚祝福式に花をそえた。



開山式に玉串を奉げる村岡理事長

【平成18年度評議員総会報告】

- 1 期日：平成18年4月16日（日）午後2時～4時
- 2 会場：大宮ソニックシティ・708会議室
- 3 出席者 ※敬称略
評議員：22名

◆代理出席者数：4名
柳下明男、板橋秀吉、横田実、矢田実。

◆委任状提出者数：13名
岩武成秋、飯島雄二、田方靖高、小川晃、原秀夫、井上信太郎、磯田芳男、高橋哲也、澤田正博、岩田保男、平野新一、森田富夫、澤田光昭。

◆欠席者数：22名

◆理事出席者数：23名（8名評議員・重複）
鳥辰克、瀬藤武、野村善弥、堀江伸子、天野賢一、塩谷壽子、鈴木一美、加藤富之、石橋修、計良寿彦、大倉至、小茂田利孝、村岡正巳、土屋正昭、岩井田正昭。

※他にメールやFAX等での連絡有り。

4 総会次第

- (1) 開会の言葉：森下副会長
- (2) 規程第26条・定足数の1/2以上（35/61）により会議成立
- (3) 会長挨拶：田中会長

(3) 議事（規約22条2項・評議員より議長を選出・承認）
議長：掛川統之評議員（浦和深稜山岳会）
議事録作成人：岩井田正昭理事（あゆむ山の会）

第1号議案：平成18年度事業報告

●各委員長より事業報告の説明あり。

- 県岳連事務局：加藤事務局長／指導委員会：野村委員長、国体委員会：長谷川委員長／クライミング委員会：大倉委員長／選手強化委員会：小茂田委員長／遭難対策委員会：瀬藤委員長／海外登山委員会：天野委員長／自然保護委員会：三ツ木副委員長／ジュニア委員会：小沢委員長／広報委員会：岩井田委員長／企画委員会：村岡委員長
- ↓第1号議案：承認

第2号議案：平成17年度決算報告

●加藤事務局長より決算報告
・一般会計の赤字（50周年事業による出費の増大）収入の不足・資金源無し）↓特別会計より補填の説明

●平成17年度監査報告：監事：内野安登

○嘗て決議された、事務局長手当（年間10万円）の支出執行をお願いします。

○事務局に「会計担当」の配置をお願いします。

↓第2号議案：承認

第3号議案：平成18年度役員

●執行部で話し合い、案を提示するが本人の了解が得られず、↓現職の留任となる。

- 会長：再任・田中文男
- 副会長：再任・武井正男・森下健七郎
- 中田弘

監事：再任・佐藤 求・内野安登

参与：前年度に同じ

●理事会役員

- 理事長：新任・村岡正巳
- 副理事長：新任・天野賢一・新任・瀬藤武
- 事務局長：再任・加藤富之
- 副事務局長：新任・大倉 至
- 指導委員長：再任・野村善弥
- 国体委員長：再任・長谷川茂
- クライミング委員長：再任・大倉 至
- 選手強化委員長：再任・小茂田利孝
- 遭難対策委員長：兼任・瀬藤 武
- 海外登山委員長：兼任・天野賢一
- 自然保護委員長：再任・山口定男
- ジュニア委員長：再任・小沢直宏
- 広報委員長：再任・岩井田正昭
- 企画委員長：兼任・村岡正巳

○役員任期（二期4年、三期6年・等）を規則化する方向で理事会に委任する。

○決算報告の監査報告で提案された「事務局に会計担当を設置」を理事会に委任する。

↓第3号議案：承認

※会長挨拶

※新理事長：村岡理事長挨拶

第4号議案：平成18年度事業計画

●各委員長より年度計画報告（※省略）

↓第4号議案：承認

第5号議案：平成18年度予算案

●加藤事務局長より年度計画報告
・特別会計より、一般会計への補填の計画。

・会員証の発行により、100万円の収入を見込み、40万円は次年度へ繰り越せるように、予備費として計上する。

↓第5号議案：承認

その他

●田中賞について↓田中会長より趣旨説明
理事会等での推薦は無かったが、会長判断により、第一回目の受賞者に加藤事務局長を推薦

↓満場一致で承認、「金一封」の授与。
議事終了：終了に伴い掛川議長の任を解く

閉会の挨拶：森下副会長 会議終了。
議事録作成人 岩井田正昭



岳連旗側 左から 森下副会長、田中会長、掛川議長、福田前理事長、村岡新理事長。

平成18年度埼玉県山岳連盟加盟団体

平成18年4月15日現在

| 地区岳連名 | 団体名 | 代表者 | 派遣理事名 | 地区岳連名 | 団体名 | 代表者 | 派遣理事名 | | |
|-------|----------------|---------|-----------------------------------|---------|--------------|----------------|----------------|-------|-------|
| 川口市 | 川口市登山同好会 | 内野 操 | 花原 美寿 | 33 部春日 | 東部登高会 | 原 久三 | 計良 寿彦 | | |
| | グループ・ド・ピオレ | 鈴木 正広 | 鳥 辰克 | 34 飯能市 | 奥武蔵ワグナーフォーゲル | 新井 宏司 | 新井 宏司 | | |
| | 日産ディーゼル山岳部 | 岩武 成秋 | 桜井 茂 | 35 飯能市 | 新電元工業山岳部 | 深田 正博 | 内田 達也 | | |
| 蕨市 | 蕨ハイキングクラブ | 三ツ木 達男 | 斉藤 勝男 | 36 所沢市 | 所沢市役所山の会 | 岩田 保男 | 岩田 保男 | | |
| さいたま市 | 浦和山岳会 | 田中 文男 | 田中 文男 | 37 東松山市 | エコー山の会 | 内野 安登 | 松尾 禎次郎 | | |
| | 浦和溪稜山岳会 | 掛川 統之 | 瀬藤 武 | 38 東松山市 | 東松山山岳会 | 福田 義夫 | 原口 隆裕 | | |
| | 浦和山友会 | 新井 逸夫 | 関根 善昭 | 39 東松山市 | ボッシュ山岳部 | 大澤 靖一 | 石川 浩行 | | |
| | 浦和西岳友会 | 北田 紘一 | 渋谷 直克 | 40 入間地区 | 毛呂山山岳会 | 平野 新一 | 野口 博 | | |
| | あゆむ山の会 | 佐藤 求 | 野村 善弥 | 41 入間地区 | 山岳同人埼玉 | 尾崎 正義 | 柳下 明男 | | |
| | まほろば山岳会 | 飯島 雄二 | 飯島 雄二 | 42 入間地区 | 城西大学山岳部 | ※ | ※ | | |
| | 桜草山の会 | 芝田 信子 | 堀江 伸子 | 43 入間地区 | 埼玉医科大学WV部 | ※ | ※ | | |
| | 連峰山岳会 | 小沢 直宏 | 天野 賢一 | 44 入間地区 | 森の童夢創造センター | 横山 伊佐夫 | ※ | | |
| | 大宮山岳会 | 松崎 達 | 塩谷 壽子 | 45 小川町 | 小川山の会 | 森田 富夫 | 平沼 伸一 | | |
| | 大宮アルパインクラブ | 石倉 昭一 | 鈴木 一美 | 46 戸田市 | 戸田山の会 | 大野 幾雄 | 岩崎 繁夫 | | |
| | さいたま市役所山岳部アルピナ | 田方 靖高 | ※ | 47 蓮田市 | 蓮田山の会 | 熊谷 潔 | 熊谷 潔 | | |
| | JR大宮工場山岳部 | 小川 晃 | 知久 隆 | 48 高体連 | 高体連登山専門部・東 | 森下健七郎 | 大倉 至 | | |
| | 我達人信越山の会 | 山口 定男 | 山口 定男 | | 高体連登山専門部・西 | 森下健七郎 | 小茂田利孝 | | |
| | 山と自然を楽しむ会 | 原 秀夫 | ※細田倫範 | | 高体連登山専門部・南 | 森下健七郎 | 小沢 直宏 | | |
| | | | | | 高体連登山専門部・北 | 森下健七郎 | 町田 伸一 | | |
| | 桶川市 | 桶川山の会 | 大久保 孟 | 森 良治 | 49 加須市 | 加須スポーツライミングクラブ | 古峰 孝 | 村岡 正己 | |
| | 深谷市 | 深谷山岳会 | 武井 正男 | 加藤 富之 | | 50 加須市 | B7(ボルシチ) | 矢萩 実 | 矢萩 実 |
| | | たらっぺ山の会 | 坂田 文男 | 石橋 修 | | 51 加須市 | 加須クライミングクラブ・ピナ | 斎藤 恵 | 土屋 正昭 |
| 熊谷市 | 熊谷アルハイキングクラブ | 小高 英雄 | 小高 英雄 | 52 幸手市 | 幸手山岳会 | 永沼 勇 | 金子 章一 | | |
| | 壁稜山岳会 | 宮田 征治 | 桜井 勝伸 | 53 単会加盟 | 本田技研埼玉山岳部 | 岩波 孔明 | 岩波 孔明 | | |
| | 熊谷山岳会 | 長谷川 茂 | 長谷川 茂 | | 石ころの会 | 深田 光昭 | 長村 昭男 | | |
| | 熊谷岳友会 | 湯本 昇 | 石川 義伸 | | 小鹿野山岳会 | 柳原 政一 | 柳原 政一 | | |
| 熊谷山旅会 | 深沢 巧 | 森田 啓太 | MAS(Mountain Athletes in Saitama) | | 大谷 明 | 佐藤 豊 | | | |
| 秩父市 | 恵流峰会 | 逸見 照三 | 逸見 照三 | 56 単会加盟 | 無名山塾 | 岩崎 元郎 | 工藤 寿人 | | |
| | 吉田山岳会 | 井上 信太郎 | 新井 時夫 | 57 単会加盟 | 獨協大学山岳部 | ※ | ※ | | |
| | 両神山岳会 | 磯田 芳男 | 斎藤 完司 | 58 単会加盟 | 大宮岳稜会 | 石黒 明 | 田中 弘明 | | |
| | 岩桜登高会 | 小池 栄次 | 小池 栄次 | 59 単会加盟 | 戸田山道会 | 高橋 次夫 | 高橋 近代 | | |
| 本庄市 | 本庄山の会 | 高橋 哲也 | 奥沢 孝寿 | 60 単会加盟 | 槻岳友会 | 大平 征徳 | 仙波 義雄 | | |
| 越谷市 | 越谷市山岳会 | 黒田 重晴 | 鈴木 正一 | 61 単会加盟 | | | | | |

※報告済み

【埼玉県岳連 平成18年3月理事会 報告】

3月14日(火)午後7時30分、北本市文化センター

0・出席 計26名

1・開会挨拶 (森下副会長)

2・報告

(1) 関東地区岳連・連絡協議会報告 (2/25-26) 福田理事長
※参加者：田中会長・中田副会長・福田理事長
村岡副理事長

※協議事項・関プロ・関東クライミングインターハイ・中高
年安全登山講習会等報告、関東クライミング大会でのボルダ
リング競技について各岳連からの報告等(詳細は別紙)

(2) 雪洞講習会の報告 (3/4日) 谷川岳指導センターの裏に
て一般26名参加・講師5名佐藤指導委員
・緊急避難の方法と半雪洞、イグルーの構築等、全員雪洞を
構築して宿泊

・ピーコンでの捜索方法、ツェルト使用の搬出方法他

(3) 埼玉県体育功労賞授賞式(3/12)

・功労賞：岩井田正昭広報委員長

・優秀選手賞：平山ユージ、門間希美

(4) 本田ジャパンカップ会計報告(中間報告)

(5) 県体スポーツクライミング競技会決算報告

(6) 日本山岳協会評議員総会(2/26)報告 福田理事長

国体の縦走廃止、ボルダリング競技導入により国体委員会と
クライミング委員会の一体化、ボルダリング競技の普及、共
済、会計報告等。役員の改選は無し。

(7) 6.2国体・関東ブロック大会(平成19年) 埼玉大会経
理担当者会議 (3/7日) 福田理事長
※平成19年7月下旬 縦走：小鹿野・観音山、クライミン
グ：加須で開催 その会議が始まる。

3・協議

(1) 県体 縦走競技(4/23小鹿野観音山) について

※別紙実施要項参照 長谷川国体委員長

・約25名の役員をお願いします。(希望者は、長谷川まで)

・高校生の参加をお願いします※国体予選会の一環とします。

・日山協の選手登録については、県内大会では無し。強化選
手・候補者は登録する。

(2) 平成17年度事業報告について

※別紙総会資料案と照らして修正等 各委員長等

(3) 平成17年度会計報告について

※別紙総会資料 加藤事務局長

※50周年記念式典会計報告 ※特別会計について

・会費未納の会には督促済み。

・一般会計の赤字分は、特別会計より補填承認。

・強化関係の予算と決算について強化委員長より補足説明
あり。 ※未請求の委員会は、報告してください。

(4) 平成18年度理事・委員会所属について
理事等の報告が、26/6.2団体なので、検討不可。
早急に報告をお願いします。

(5) 平成18年度役員について
役員改選期→山口自然保護委員長・福田理事長・加藤事務
局長の退任希望あり。

↓すべての理事が出そろって検討すべきなので、4月11日
臨時理事会を招集して決定する。
・日山協の組織改編に伴って、

県岳連の委員会も変えていく。了承

(6) 平成18年度事業計画・予算計画案について

次回に持ち越し。資料には、例年通りの予定を入れてある
ので、各委員会等で検討してください。

(7) その他

・会員の発行について(お願い)の提案次回以降、要検討

(8) 各部分からの報告等

①指導委員会

・登攀研修会(3/26) 飯能・天覧山について

主任講師・佐藤博 上級登攀ガイド・講師研修会(3/25)

飯能・天覧山、共に要項配布済み。

※多数の参加をお願いします。

※指導員の方の指導部への協力をお願いします。

①国体委員会

6.1国体関東ブロック大会(7/21~22日光市泣虫山・宇都宮市
希望者は、長谷川まで連絡願います。

・480に審判員会議あり。総務員：長谷川

③クライミング委員会

・加須カップの期日→6月18日(日)に変更。

・オール神奈川、東京カップ等との関係から

④選手強化委員会 別紙資料参照

・日山協の強化選手に、埼玉の2名が選ばれそう

(角田大樹、門間希美。正式には後日

⑤ 遭難対策委員会・山岳共済の加入をお願いします

⑥ 自然保護委員会

・冬の雲取山研修・懇親会(3/25~28雲取山) 開催

⑦ 海外登山委員会

・ナンガパルバット遠征計画書は4/16の総会で配布

・同時に、トレッキング計画書、Tシャツ等の応援等も告知
させします。

⑨ 広報委員会 次回4月下旬発行予定 (総会報告他)
※指導、遭難の事業実施報告原稿をお願いします。

ナンガパルバットアピール

⑩ 企画委員会 ※別紙資料参照

⑨ 事務局 ※理事等の報告を早急にお願います。

※「田中賞」の推薦をお願いします。様式等は、同封します。

※長野県山岳協会からのお知らせ→別紙参照

※日山協 第2回山岳スキー競技会

(4/15-16)のお知らせ→別紙参照

【埼玉県山岳連盟・指導委員会からのお知らせ】

指導員資格更新による埼玉岳連 指導員会費納入のお願い

※公認スポーツ指導者「登録証」がクレジット機能付カードにな
り皆様が送金していただいたことと思います。(この送金に関し
ては体育協会と日本山岳協会の更新登録費になります) 埼玉岳連
の指導員会費として別に4年に1回更新時ですので、4000円

送金をお願いいたします。郵便局記号(10310) 番号(88909771)

ホリエノプロ(指導委員会堀江さんの口座になります)

※振込みと同時に同封いたしました登録更新カードに、該当内容
を記載し、所属山岳会の野村まで同封の封筒にて返信お願いいた
します。 振込み確認後、指導委員会印を押して、日本山岳協会に

カードとともに登録申請いたします。

※前回間違えて送金された方は、その内容を申し出て下さい。

確認いたします。

※今年度の県岳連指導委員会の行事予定としましては、1月27

日28日、積雪期講習会・3月3日4日、雪洞・緊急避難講習会

秋に登攀講習会の予定です6月以降に指導員研修会を開催の予定
です。

※19年度には新指導員制度に基づく指導員養成講習会を実施す
る予定であります宜しくお願いたします。指導委員長野村善弥

お問い合わせ 090-4847-7750 (5言語メモに伝言ください)

E-mail ynom@yhb.ne.jp 048-885-1470 (FAX 電話と同じ)

〒330-0043 埼玉県さいたま市浦和区大東1-15-34

【平成17年度・積雪期雪上講習会】

あゆむ山の会・記録報告 佐藤 求

【参加者】 C.L佐藤 求(講師)、S.L金子 昭(講師)、小茂田利孝(研修)、畠山秀兒(研修)、野村善弥(指導委員長)、佐藤 博(主任講師)、(全員で50数名)

【タイム】

28日(土) 天候：風強くブリザード

大宮西口代ゼミ前 6:30→岩槻ICより東北自動車道→那須IC

8:15 那須マウントホテル 8:50→集合 10:00 (ホテルロビー)

講習→講習終了 15:30→座学 16:20→17:30→夕食 19:00

何時もの様に大宮西口代ゼミ前を出発した。その前に共同装備(ザイル2本、スノーバー4本、ビーコン6台など)を積み込むために野村さんに佐藤(求)宅によつてもらった。岩槻ICから東北道にのり那須ICでおり順調にホテルに到着した。途中小雨にもあつた。ホテルで受付を済まし、指導委員長の野村善弥さんから今回の趣旨と注意事項が伝えられる。また主任講師の佐藤博さんより講習内容の説明を聞き各班ごとに分かれる。

今までの講習会場はロープウェイの先で行つたが、今回は橋を渡りスキー場の横をとり茶臼岳基部の講習会場に到着。講習内容も今までは各班に別れ各班の講師のやり方でやつていたため各班ばらばらなやり方であつたが、今回は主任講師がまず全員にデモストレーションして見せそれを各班に分かれて講師の指示で行う。不明な点は主任講師に質問し教えてもらう。

この繰り返しで次々とカリキュラムをこなしていく。そのため、ばらばらな講習内容では無く統一した講習内容のため、埼玉県岳連の技術内容が統一したといつても過言ではなくなつた。

私と金子さんが初級コースを受け持つたが、今回初級コースの会員が数人しかいなかった。ほとんど中、上級、研修のメンバーでした。本日は風が強く強いブリザードでもとても寒い。

そのため休む人がいなく大変活気のある講習会になつた。講習内容は初級も上級も同じものをやるが、ただ初級は手加減をしながらひとつずつわかりやすく教えていかなければならない。ましてや怪我には十分注意して行わなければならない。ただ講習生全員が積極的なため手を抜くようなことも出来ない。

ホテルに帰るとまず座学を行いその後、懇親会をかねての夕食。また各会の自己紹介を行いました。あゆむ山の会でも小茂田さんが中心になり各人と佐藤博さんの紹介もありました。

また部屋に帰つてからいつもの馳走。飲みすぎ、食べ過ぎに注意しながら満腹。

【本日の講習内容】

- ①冬山に効果的な衣類 ②冬山装備③歩く基本、平坦雪上歩きの基本動作・原理 ④アイゼンなし雪上歩行、緩斜面登下、トラバース、斜登下降、方向転換⑤キックステップの登下降
- ⑥アイゼン歩行⑦滑落停止⑧耐風姿勢

29日(日) 天候：快晴無風

起床 6:00→朝食 7:00→ホテル発 8:10→講習場 8:30→12:30→

終一式 13:00→ホテル発 13:50

昨日と打つて変わったの快晴無風。遠く那須の町から八溝の山々が眺められる。昨日指導員の一人が捻挫したため金子さんは中上級の講師に回る。本日は私とスタッフの熊谷さんと初級組を受け持つ。本日も主任講師がまず行いそれに続いて各班の講師による指導。この会場はこの時期にして圧雪して講習会場には、ちょうどよい。本日はザイルを使つての講習が主となる。特に今回はスタンディング・アックス・ピレーからの自己脱出。全員張り切り方が違う。初級組はスタンディング・アックス・ピレーは行方が自己脱出までいかず、滑落停止と、耐風姿勢の反復練習を身につけることにする。

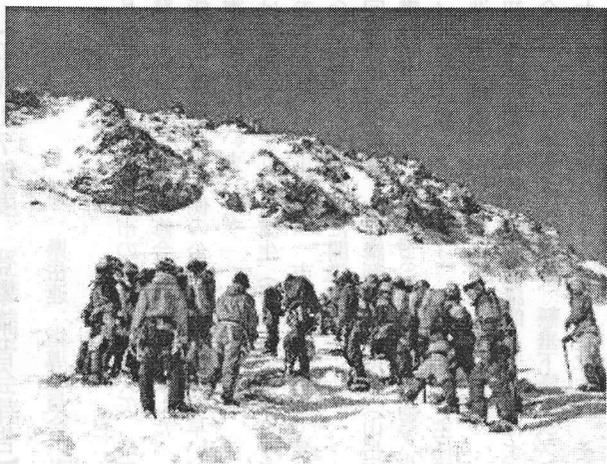
やる気になると時間の経つのが早い。野村指導委員長から終了の合図。ホテルで各人に修了書と佐藤博主任講師からの講習をもらい、ホテルの温泉に入つて帰途に着く。みな満足げの顔であつた。

【本日の講習内容】

- ①ステップカッティング②緊急避難③ロープ確保と確保の意義
 - ④アンザイレン(コンテニユアンスクライミング)
 - ⑤スタンディング・アックス・ピレーからの自己脱出
- 【この講習でザイルを使用する組が行う操作技術(必須)】
- 1. 固定技術(エイトノット、クローブヒッチ)
 - 2. 確保技術(エイト環、ATC、ムンターヒッチ)
 - 3. フリクションヒッチ(ブリッジブルージック)

本報告書はあゆむ山の会・月報3月号「活火山」より転載 ※C.L/S.Lはあゆむ山の会の山行計画書によるもの

(注) 編集 岩井田 正昭



スタンディングアックス・ピレーの基礎訓練



雪キノコを利用したアンカーの取り方の講習

【雪洞講習会に参加して】

小鹿野警察署山岳救助隊 林 一夫

今年の3月に谷川岳での雪洞講習会に参加させて頂きました。実際にスノーソーやスコップを利用して雪洞を設営し、そこで寝泊りする貴重な体験をし、又 緊急時に際して雪面を掘つてのピバグの方法、雪崩に遭遇した際にビーコンを使用している捜索方法、シートに負傷者を乗せての搬送の方法、雪面にアンカー(支点)を取り滑落者を支える方法等、様々な技術を学ぶことができました。

秩父の山では雪洞を設営する場所や雪崩に遭遇する場所が、あまりないのですが、生きた技術を学べたことはいつかどこかで役立つものだと思います。

それでも昨年は富山県警山岳警備隊の方々の訓練が富山県でありそれに参加してきたのですが、そこでは救助技術もさることながら、救助に際しての心構えを学ぶことができました。

我々救助隊員は、生きていても死んでいても、その家族にとつてはかけがえのない人なので救助活動をする時は、生半可な気持ちではいけない。そして実際の山で救助活動をするためには日々の訓練が必要で、訓練ではいくらバテようと弱音を吐こうと構わないが、遭難者の前で弱音を吐くことは許されない。遭難者にとって救助隊員は命を助けてくれる、自分の命を握っているかけがえのない存在なのでその救助隊員が惨めなことにはできません。

また救助活動は個人でするものではなく、一人一人の力を結集することで困難な場面に遭遇しても立ち向かえるチームワークの大切さも大事なことです。遭難者を背負って搬送する時も自分から交代して下さいということ遭難者に対して弱音を吐いているように聞こえるので、隊員同士が背負っている隊員の状況を見ながら、「交代しよう」といって気を遣いながら交替するのが暗黙の了解なのです。

さて今回も講習で得た知識や技術等を他の隊員にも伝え一緒に向上していきたいし、また私自身山岳救助隊員になり2年目を迎えて、昨年以上に奮起し実際に現場で活躍できるよう頑張りたいです。

そして個人的に各種講習会等に参加し、現状維持に満足せず日々向上するつもりです。今後講習会や山で見かけた際には宜しくお願いします。



雪面にザックを利用したスノードームの作成



シート担架にて救助者の搬送訓練

【平成17年度 登攀講習会報告】

県岳連 指導委員会 計良 寿彦

3月26日に埼玉県飯能市の天覧山において、埼玉県山岳連盟 登攀講習会・指導員研修会が開催されました。集合場所の飯能市民会館駐車場の側の公園では花見には早いですが、桜まつりの準備がされていました。

当日は天候にも恵まれ、受講生(研修も含め)31名・講師8名の参加をいただきました。市民会館駐車場で受付をした後講習会場へ行き、午前9時に開講式。

今回も昨年に引続き、主任講師に佐藤博氏(山岳ガイド(上級登攀ガイド)を迎え、実施されました。講習グループ(5パーティ)と初心者(1パーティ)の班確認後、主任講師より講習の進め方の説明を受け講習が開始しました。

最初の隔時登攀のシステ説明と講師(3名)によるデモ。次に全員がピッチ終了点に移動し、懸垂下降のシステムとデモが行われました。講習ルートは5本設定により、それぞれの支点の使用が重複し、終了点も混雑。その後も登攀パーティと懸垂下降パーティが入り乱れ、ルートも順番待ちの状態でした。初心者パーティはクライミングの基礎講習後、ルートを使って懸垂下降等の講習が行われました。

初級・中上級組は隔時登攀。「登攀準備・ピレイポイントの選定と支点の設置(流動分散等)、セルフビレーと確保姿勢、リード登攀、ランニングビレー(セットのタイミングとザイルの流れ)、残りザイルの量等コール、ピッチ終了でのセルフビレー支点の設置、コール、セカンドの登攀準備、セカンド登攀終了後、ラスト登攀のサイクルで練習。登攀が済んだパーティは懸垂下降に移行。「支点の選定と設置(残置支点の確認と補強)、パーティが多い時の支点でのセッ(エイト環等を使用した方法、ザイルの末端処理、ザイルの投下と確認、エイト環のセット、初心者のフォローの方法、下降、初心者に対するザイルのバックアップのサイクルで練習」

その後、2パーティ毎に仮固定と脱出技術(リード転落時の確保者の脱出)。「確保者の位置確認、プルージック↓支点への仮固定(スリングやヌンチャクを使った方法) ↓確保器具等解除 ↓メインロープの本固定 ↓救助移るサイクルの練習」。中上級組は終了後、制動確保(重りを使った確保技術)。



佐藤講師:指導による実技を見守る会員

「支点設置とセルフビレー」↓確保器による制動(姿勢)
 ↓自己脱出のサイクルで練習」最終講習として、宙つりからの自己脱出技術。フリクションヒッチを使ったセットと登り返し方法の練習。以上の講習が実施されました。

昼食時間は各パーティの講師の指示によりとっていただきました。講習・研修は午後4時頃まで行われ、その後閉講式に移り、主任講師からの講評を頂いた後、解散。この講習・研修会の開催に当たり、講師・スタッフは前日の午後に講習会場に集まり、講習会場のセッティング、講習の進め方のデモと確認、講師クラスの特設技術の実習(懸垂からの脱出)「ガルーダ、ピエンテ」を使った登り返しから、仮固定してもう片方に移り懸垂下降で脱出」等を上級登攀ガイドの佐藤博氏から指導を受け講習会準備を整えました。

この講習会に参加頂いた会員の皆様には、個人の技術の向上と各会の指導者を目指し、反復練習と、所属会への技術指導をお願いいたします。(主任講師からの閉講式でのコメントをいただきました。)また、講師を引き受けていただきました講師陣のご協力に、心から感謝申し上げますとともに、今後もご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、お忙しいところ主任講師をお引き受けいただきました佐藤博氏、本当にありがとうございます。これからも、ご指導・鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



クライミングの基礎講習風景

平成18年度

【第十九回県民体育大会・山岳競技会】

平成18年4月23日・小鹿野町 観音山周回コース
 県民体育大会が59国体会場的小鹿野・観音山で開催された。岳連関係者：森下副会長、村岡理事長、長谷川国体委員長他、14名。小鹿野町関係：小鹿野山岳会柳原会長他、県体協00小鹿野警察署員ら約30名が参加。

前日から小鹿野町・競技会関係者、県岳連の役員が現地でのコース整備、会場準備に対応し、心配された天候も夕方まで雨も降らず、長谷川選手のゴール間際のデッドヒートもあり、大いに会場を沸かせ無事終了。本橋選手は前年度記録更新！

選手参加者が12名の参加があり結果は先の通り。今回は予選会も兼ねて行われ、優勝選手にはトロフィーと賞状が贈られ、2位・3位はそれぞれ賞状が贈られた。



日尾グラウンド・一斉スタート

| カテゴリー | 順位 | 選手名 | タイム |
|-------|----|-------|---------|
| 成年男子 | 1位 | 本橋 和之 | 0:50:21 |
| | 2位 | 郷 秀憲 | 0:58:21 |
| 成年女子 | 1位 | 山田 聖美 | 1:15:01 |
| | 2位 | 船橋 緑 | 1:24:24 |
| | 3位 | 蓮見 直希 | 0:59:15 |
| | 4位 | 川崎 政春 | 1:00:29 |
| | 5位 | 田村 将夫 | 1:04:42 |
| 少年男子 | 1位 | 町田 尚城 | 1:03:19 |
| | 2位 | 長谷川 正 | 1:04:40 |
| | 3位 | 小川 顕 | 1:11:54 |
| 一般 | 1位 | 関口 智子 | |
| | 2位 | 大倉 貴子 | |
| 成年男子 | 1位 | 小林 修 | 0:50:43 |

敬称略 文責 岩井田 正昭

(社)日本山岳協会 平成18年度山岳共済募集開始!

期間:平成17年4月1日~平成19年4月1日(中途加入できますが、会費・終期は同じです)

※ 遭難捜索費用保険は、山行中の病気の時にも支給されます。

※ 死亡・後遺保険、入院保険は、スポーツライミングの事故にも支給されます

一般共済

| 契約基本タイプ | 高校生 | A | B | C | D | E |
|---------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|
| 死亡・後遺 | 150万円 | 180万円 | 200万円 | 300万円 | 400万円 | 1000万円 |
| 遭難捜索 | 100万円 | 200万円 | 200万円 | 250万円 | 350万円 | 500万円 |
| 賠償 | / | / | 1億円 | 1億円 | 1億円 | 1億円 |
| 会費 | 3,000円 | 5,500円 | 6,200円 | 8,000円 | 11,000円 | 18,000円 |

上記者基本タイプに入院時のオプションを追加した場合の合計金額は下記のおりです。

| 契約基本タイプ | 高校生 | A | B | C | D | E |
|---------|--------|--------|---------|---------|---------|---------|
| 入院(日額) | 3,300円 | 3,300円 | 3,300円 | 3,300円 | 3,300円 | 3,300円 |
| 通院(日額) | 1,000円 | 1,000円 | 1,000円 | 1,000円 | 1,000円 | 1,000円 |
| 追加会費 | 4,000円 | 4,000円 | 4,000円 | 4,000円 | 4,000円 | 4,000円 |
| 合計金額 | 7,000円 | 9,500円 | 10,200円 | 12,000円 | 15,000円 | 22,000円 |

特別共済

中高年ハイカーと冬山登山をしない高校生に最適の一般共済又は特別共済の加入が必要です。共済です。行動中の事故に対して補償されます。

| 契約基本タイプ | I型 | H型 |
|---------|--------|--------|
| 死亡・後遺 | 300万円 | 300万円 |
| 遭難捜索 | 300万円 | 300万円 |
| 個人賠償 | 1億円 | 1億円 |
| (入院内額) | 2,000円 | 4,000円 |
| 通院(日額) | / | 1,700円 |
| 会費 | 3,000円 | 6,000円 |

海外山岳共済

| 契約基本タイプ | / |
|---------|---------|
| 死亡・後遺 | 100万円 |
| 遭難捜索 | 500万円 |
| 個人賠償 | 1億円 |
| 追加会費 | 10,000円 |

死亡見舞金

山岳登山中に疾病を要因とする死亡事故発生の場合、共済より会員の家族の方へ死亡見舞金(10万円)を支給します。(一般共済・特別共済共通です)

社団法人日本山岳協会 山岳共済事務センター

〒170-013 東京都豊島区東池袋 3-7-11-707

電話番号 03(5958)3396 F A X 03(5958)3397 E-mail sangakukyousai@mbd.ocn.ne.jp

引受保険会社 三井住友海上火災保険株式会社 社団法人日本山岳協会 指定代理店

瀬田工業有限会社保険事業部

【編集委員会からのお知らせ】

25号から一般・岳連広告を岳連報に載せることにしました。毎年3回から4回発行する「埼玉岳連報」の印刷経費・送料が岳連予算の12%近くに及んでいます。限られた予算の中で、今年度から年3回の発行を予定していますが、4ヶ月間程度の情報を精査し、できるだけ最新情報を掲載したいと思っております。少しでも予算を切り詰めるため、皆様からの広告掲載には是非御協力下さるようお願いいたします。掲載内容は問いません。会社広告、山岳会広告、その他。詳細は次回理事会で御報告。【情報を提供下さい】

地区岳連、会内の移動等の案内、地区岳連の催し、特に各委員会に於ける行事報告をお願いします。

【編集後書】

二子山の開山式に参加し帰路、深谷山岳会のメンバーと二子山・西岳に向かった。クライミングに中央稜3名、写真撮影に一般道を山頂に向かう、山頂直下の鎖場付近は大渋滞、三〇名近くの登山者。多くの方が六〇才前後の登山者で足元がおぼつかない3級の岩場には及ばないが、始めての人にとっては急傾斜で厳しいものがある。大勢の登山者が狭い山頂にあふれている。

山頂付近でパトロール中の県警山岳救助隊の飯田さんとはしばしばお話をしている最中、鎖場付近で女性の悲鳴が上がった。飯田副隊長の「声聞いたか!滑落だ」と一声言い、傍らの隊員に「先週山頂から滑落事故(死亡)があったばかりで、最近事故が多くて非常に残念」と話をしていて最中だった。

やがて県防災ヘリによるホイストの吊り上げの様子が、あいにく山頂からは現場が見えないが、ヘリの数回にわたる岩場斜面への進入が厳しい状況を見せている。無事であることが良いが・・・。中央稜メンバーと合流後、ダイレクト尾根を下降。解散。事故処理で忙しいと思われるため、秩父署に立ち寄るのをためらい帰宅する。翌朝の新聞で滑落事故(死亡)の記事を読み暗澹とする。今年も又、5月連休には、同じように大勢の登山者が押し寄せるという。連休中に遭難事故が起きないように祈るばかりである。

今回、岳連報に小鹿野警察署山岳救助隊の林隊員の雪洞講習会の感想文を載せることができました。小鹿野警察署・署長にもお会いして事情を説明し、快諾戴き、紙面を飾ることができました。地道な救助隊の行動に頭の下がる思いです。今後の埼玉県山岳救助隊の活躍を時折、上梓したいと思います。

編集担当 岩井田 正昭 <miwada@nna.biglobe.ne.jp>